

## 調 査 活 動 実 績

氏 名 三石 文隆

令和5年度の政務調査に関する主な活動の実施状況は、次のとおりであります。

- 1 教育の質的向上、教育の振興に関する調査研究等
- 2 南海トラフ地震対策に関する調査研究等
- 3 行財政改革に関する調査研究等
- 4 健康政策に関する調査研究
- 5 福祉政策に関する調査研究
- 6 産業の振興等に関する調査研究等
- 7 陸、海、空の交通基盤の充実にに関する調査研究
- 8 観光振興の推進に関する調査研究等
- 9 文化芸術の振興、文化財の保存と有効活用に関する調査研究等
- 10 中山間地域の活性化、基盤整備に関する調査研究等
- 11 高速道路や地方道の財源確保に関する勉強会、地域の道路ネットワーク整備等に関する調査研究
- 12 雇用の確保に関する調査研究
- 13 少年非行防止対策、交通安全対策に関する調査研究
- 14 国際交流・文化交流促進に関する調査研究
- 15 デジタル化の推進に関する調査研究
- 16 その他の県政全般の課題に関する調査研究

調査項目は以上であります。政策の重要性に鑑み、次の事項について重点的に調査を行いましたので、その概要を報告します。

## ○ 教育の充実について

県教育委員会は、令和2年3月に策定された「第2期教育等の振興に関する施策の大綱」に基づき、デジタル技術を活用した学習スタイルの展開や、多様化・複雑化する子どもたちの状況に応じた支援の強化など、明らかとなった成果や課題などを踏まえて、PDCAサイクルによる進捗管理を徹底しながら、取り組みを着実に進めています。

そうした中、令和5年度は、AIデジタルドリルの効果的な活用に係る実証研究の実施や、教員の業務負担を軽減し児童生徒への指導等に注力できるよう、教員業務支援員の配置の拡充、小規模な高等学校への授業等の配信、中学校の免許外指導教員への支援の拡充など、質の高い教育の実現に向けた組織的な取り組みの強化を行っています。加えて、不登校などを未然に防ぐため、保幼小の円滑な連携・接続に向けた取り組みの強化などを行っているところです。

また、暴力行為や不登校の出現率について、「未然防止」「初期対応」「自立支援」の観点から様々な取組を行ってきたところ、前年度の数値を下回っています。小中学校の1,000人当たりの不登校児童生徒数が前年度を下回ったのは10年ぶりです。

こうした取り組みによる成果が出る一方で、令和4年度の全国学力・学習状況調査では、小学校は全国平均以上を維持、中学校も全国平均との差を縮めるものの、中学校の英語が全国平均を大きく下回り、また、いじめの重大事態については、全国より依然として高い状況が続くなど、多くの課題を抱えています。

このような状況に対し、まずは子どもたちの現状をしっかりと把握し、教育委員会や学校現場の関係の皆さん、保護者の皆さんと精力的に意見交換を重ね、課題の解決に向けた提言を行い、改善を図ってまいりました。

令和6年度から第3期の教育大綱がスタートします。予測困難に変化する時代においても、子どもたち一人一人がそれぞれの、また日本や高知の未来を切り拓いていけるよう、今後も、県教育委員会に対し教育の充実に向けて様々な場面で意見を述べてまいります。

## ○ インフラの充実・有効活用について

県では、国の「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」を最大限活用し、地域経済を支えるインフラ整備の着実な推進に加えて、南海トラフ地震などの大規模災害対策に全力で取り組んでいます。

そうした中、四国8の字ネットワークや浦戸湾の三重防護など必要性、緊急性の高い事業を引き続き進めるとともに、中山間地域の道路整備など地域の実情を踏まえたインフラ整備、デジタル技術を活用したインフラ施設の効率的な管理などを着実に推進しています。

全国と比較すると遅れている本県道路の早期整備や適正な維持管理など、さらなるインフラの充実・有効活用を図るために調査研究を行いました。

## ○ 観光の振興について

県では、連続テレビ小説「らんまん」の放送にあわせて開催した観光博覧会などの取り組みにより、県外観光客入り込み数は過去最高となる472万人を記録しました。また、来年春には連続テレビ小説「あんぱん」が放送されます。本県観光が、この絶好の機会を生かし、勢いを持続しながらさらなる躍進を遂げるため、適宜、意見を述べてまいります。

## ○ 文化芸術の振興について

県では、令和8年度の国民文化祭開催に向けて実施計画を策定するとともに、市町村が行う文化芸術活動の磨き上げなどを支援し、準備を着実に進めています。また、中山間地域をはじめとした地域の価値ある伝統芸能を次世代に継承するための取り組みを総合的に推進しているところです。

こうした取り組みは、本県の文化芸術の価値を発信する大きな機会であるとともに、文化芸術による新たな価値の創出を広く示していく好機であります。また、文化芸術の振興にとどまらず、中山間地域の振興にも寄与する取り組みであり、今後も、積極的に意見を述べてまいります。